



同時記者発表 高知県政記者クラブ

平成30年2月22日
四国地方整備局
高知県

「第1回 四国における港湾を活用した農林水産物

輸出促進検討会」の開催

～高知港をモデルとした農林水産物輸出の検討～

四国地方整備局及び高知県は、政府が平成31年までに輸出額を1兆円とする目標を掲げ、輸出促進の取り組みを進めていることを踏まえ、高知港の活用を視野に入れた農林水産物の更なる輸出拡大方策について検討するため、2月26日に「第1回 四国における港湾を活用した農林水産物輸出促進検討会」を開催します。

なお、今回は、北海道で初心者でも手軽に農産物を輸出できるサービスの実現にご尽力されている、(一般社団法人)北海道国際流通機構の鳥取代表理事をお招きし、先進事例として北海道における農水産物の輸出戦略についてご講演頂く予定です。

○検討会議概要

- ・日時:平成30年2月26日(月) 14:30～17:00
- ・場所:高知新聞放送会館 高新文化ホール(東館7階)(別紙-1参照)
高知市本町3丁目2番15号
- ・備考:本検討会議は2部構成で、第1部及び第2部の知事挨拶まで公開です。取材、傍聴を希望される場合は、2月23日(金)15時までに別紙-2にて事前に申し込みをお願いします。

○検討会名簿

- ・別紙-3参照

○主な議題内容

- ・別紙-4参照

○(一般社団法人)北海道国際流通機構 鳥取義之代表理事について

- ・別紙-5参照

＜問い合わせ先＞

四国地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 課長補佐 志水 康祐
係長 北川 俊一郎

電話:087-811-8330(直通)

第 1 回 四国における港湾を活用した農林水産物輸出促進検討会
開催場所



開催場所は、高知新聞放送会館 高新文化ホール（東館7階）です。
市内電車（とさでん）高知城前電停より徒歩1分です。
当会館南（電車通り側）の東館玄関より展望エレベータで7階まで上った場所です。

四国地方整備局 港湾空港部
港湾計画課 宛

F A X : 0 8 7 - 8 1 1 - 8 4 2 6

第 1 回 四国における港湾を活用した農林水産物輸出促進
検討会の取材申込書

貴社名		
連絡先	TEL:	FAX:
代表者名		
連絡事項等		

2 月 2 3 日（金） 1 5 時までに F A X 送信をお願いします。

第1回 四国における港湾を活用した農林水産物輸出促進検討会 名簿

所 属	職 名	氏 名
高知商工会議所 総務企画部 企画調整課	課長	平島 輝之
日本貿易振興機構 高知貿易情報センター	所長	山口 和紀
中国四国農政局 経営・事業支援部 地域連携課	課長	佐々木 政宏
四国経済産業局 産業部 国際課	課長	岡本 昭義
四国地方整備局	次長	池田 直太
四国地方整備局 港湾空港部	部長	宮島 正悟
四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所	所長	高阪 雄一
高知県 産業振興推進部	部長	松尾 晋次
高知県 農業振興部	部長	笹岡 貴文
高知県 林業振興・環境部	部長	田所 実
高知県 水産振興部	部長	谷脇 明
高知県 土木部	部長	福田 敬大

特別委員

高知県	知事	尾崎 正直
-----	----	-------

第1回 四国における港湾を活用した農林水産物輸出促進検討会

日 時：平成 30 年 2 月 26 日(月)14:30～17:00

場 所：高知新聞放送会館 高新文化ホール

議 事 次 第

【第1部】 14:30～

1. 開 会

挨拶 四国地方整備局 次長

2. 講演 ～北海道における農水産品輸出戦略について～

((一社)北海道国際流通機構 鳥取義之 代表理事)

3. 質疑応答

《休憩 10 分》

【第2部】 15:30～

1. 挨 拶 【高知県知事】

2. 議 事

(1) 農林水産物の輸出に係る取り組みについて

(2) 高知県産農林水産物の輸出や取り組みの現状について

(3) 高知港を利用し農林水産物を輸出するための課題抽出

(4) 今後の取り組みの方向性

3. 閉 会

鳥取 義之 （一社）北海道国際流通機構代表理事

氏 名：鳥取 義之（とっとり よしゆき）

役 職：（一社）北海道国際流通機構代表理事

元ヤマト運輸（株）北海道支社国際物流企画推進室長、
寒地港湾技術研究センター主任研究員

北海道国際輸送プラットフォームの活動を通じ、初心者でも簡単に輸出できるよう、全国初の輸出手続の代行及び小口冷凍・冷蔵輸送サービスを開始した立役者。

平成29年4月に新設された一般社団法人北海道国際流通機構の代表理事として、道産品の輸出拡大に向けて、生産者団体、水産加工業者等の商品を海外市場に売り込み、輸送、販売まで支援する取組を展開。物流スペシャリストとして、食や物づくりの海外展開に向けた道標として、様々な機会で活躍。

